

九州医師会連合会第 128 回臨時委員総会（報告）

日 時：令和 6 年 11 月 15 日（金）17：00～17：50

場 所：ホテル日航熊本 5 階 阿蘇

出席者：田名会長、稲田副会長、大屋常任理事、
玉城常任理事、涌波常任理事、稲富理事

去る 11 月 15 日（金）、ホテル日航熊本にて標記臨時委員総会が開催された。本臨時委員総会では九州医師会連合会事業現況や歳入歳出現計、総会及び医学会関連行事等の報告事項 4 題、並びに第 124 回九州医師会連合会総会の宣言・決議（案）が承認可決されたので、その概要を報告する。

1. 開 会

水足秀一郎委員より開会が宣言された。

2. 挨拶

九州医師会連合会長 福田 稔

九州医師会連合会及び医学会関連行事を 3 日間担当するが特別な意義を感じている。明治 25 年に第 1 回医学会が熊本で開催され、明治 40 年には熊本市医師会が設立され、その翌年に熊本県医師会が創立された歴史がある。また、九州医師会連合会は大正元年に設立され、九州各県から役員を 3 名ずつ出して熊本の地でスタートした。さらに、大正 5 年に設立された大日本医師会や、大正 12 年に発足した日本医師会にも九州から役員が参加し、初代会長には北里柴三郎先生が就任した。また副会長には私ども熊本県の実徳健男先生が就任している。これらの背景から熊本は「医師会の故郷」の様な特別な意識を持ち、準備を進めてきた。実り多い会になることを願っている。

3. 来賓祝辞

日本医師会長 松本吉郎

医療界の最重要課題は、医療機関の厳しい経営状況である。病院の半数以上が赤字を抱え、診療所も深刻な状況に直面している。一方で財務省の財政審からは、医療への更なる厳しい提案が出されており、

医療提供体制や国民皆保険制度の長期的な維持が危機にさらされている。これ等に対して、先ず補正予算で 1000 億円の医療支援を要求し、特に物価高騰への対応として 500 億円を求めている。国会議員や関係省庁などに働き掛けを行いながら、今後は本予算、診療報酬改定などの課題に繋げて行きたい。また、医療界の厳しい状況を打破すべく、急遽 11 月 21 日に「国民医療を守るための総決起大会」を開催する。今後も多くの課題に先生方と共に一丸となり取り組んで参りたい。

日本医師会名誉会長 横倉義武

新型コロナが落ち着きを見せる中、医療制度の見直しが財務省主導で進められている。地域医療を支える医師会は、国民の生命と健康を守る役割を果たしている点を社会に強く訴えるべきである。本来、厚生労働省が医療の重要性を主張すべきだが、財務省の影響力が強まる現状にある。医師会は松本執行部の下で団結し、制度設計や財政支援の必要性を訴えていかなければならない。医師会の役割は、国民の生活に不可欠な医療を守り、より良い医療体制を構築することである。

日本医師会副会長 釜范敏

全国各地、地域医療の現状は極めて深刻である。今、特に人口減少地域では医療機関が淘汰される恐れがある。財政当局の方針は地域医療の必要性を軽視しているように見え、医療機関が消失すれば地域での生活が成り立たなくなるという現状を分かってもらえず、非常にもどかしい思いをしている。この状況に対し、我々は社会保障費の適正な確保と持続可能性を強く訴え続ける必要がある。また、来年 7 月の参議院選挙に向けて、地域医療を守るための結束が重要であり、引き続き支援をお願いしたい。

日本医師会常任理事 今村英仁

松本会長のもと、地域偏在問題や新たな地域医療構想の策定を担当している。現場の意見を踏まえながら重要な課題に取り組んでいる。いずれも非常に大事なテーマであり、多くの先生方の指導と支援をお願いしたい。

日本医師会常任理事 濱口欣也

今期、日医役員として2期目を迎えた。担当として医師の働き方改革や周産期医療に取り組んでいる。とりわけ、出産の保険適用化について国の議論に参画しているが、明確なビジョンの欠如に憤りを感じている。昨年度は平成13年以来、2000名以上の会員が増加した。これも偏に、先生方の支援の賜物である。引き続き、組織強化に向けて若手医師への重点的な働きかけをお願いしたい。また、釜菴副会長が医療と政治を繋ぐ重要な存在になるため、さらに支援の輪を拡げていただくようお願いしたい。

参議院議員 羽生田俊

今回の衆議院選挙の結果を受け、自民党議員の一人としてお詫び申し上げる。また、加藤勝信先生の財務大臣就任や福岡資麿先生の厚生労働大臣に期待を寄せ、来年7月には釜菴敏先生が私の後任として、しっかり仕事ができるよう、先生方の支援をお願いしたい。

4. 座長選出

慣例により福田稔九州医師会連合会長が務めることになった。

5. 報 告

1) 第419回常任委員会について（熊本）

福田座長より、16時から別室にて標記常任委員会を開催し、九州医師会連合会事業現況や歳入歳出現計、総会及び医学会関連行事等の報告事項6題、並びに第124回九州医師会連合会総会における宣言・決議（案）等の協議事項4題、その他事項2題について審議した旨報告があった。

2) 九州医師会連合会事業現況について（熊本）

水足秀一郎委員より、令和6年7月1日から10月31日迄の4ヶ月間に開催した諸行事は、常任委員会（3回）、委員総会（1回）、各種協議会（1回）、その他の連絡協議会等（1回）、その他の関係行事（2回）である。また、慶弔等の対応については規定に基づき対応している旨報告があった。

3) 九州医師会連合会歳入歳出現計について（熊本）

中村英一委員より、令和 6 年 10 月 31 日現在の歳入歳出現計並びに差引残高について次のとおり報告があった。

歳入合計 140,048,863 円

歳出合計 16,615,240 円

差引残高 123,433,623 円

4) 第 123 回九州医師会連合会総会及び医学会関連行事について

（熊本）

水足秀一郎委員より、11 月 16 日（土）の合同協議会、総会・医学会、17 日（日）の分科会・記念行事の日程について報告があった。

6. 議 事

第 1 号議案 第 124 回九州医師会連合会総会の宣言・決議（案）に関する件

福田座長より、標記の宣言・決議案は、九州各県医師会への意見照会を経て、先ほど開催された常任委員会で承認された旨説明があった。続いて、金澤知徳委員により宣言・決議（案）が朗読され、審議の結果、原案どおり承認可決された。これにより、翌 16 日（土）の総会に上程することが決定した。

7. 協 議

座長より提案事項がないか確認を行ったが、特になかった。

8. その他

座長より提案事項がないか確認を行ったが、特になかった。

9. 閉 会

坂本不出夫委員より閉会が宣言された。